

テーマ：雇用の創出と魅力ある「しごと」づくりについて

(農林水産業の振興、産業の振興、観光の振興、企業誘致、雇用創出など)

地域産業の競争力強化

- ・木更津市で企業活動を行う強みとは？また、既存企業の強みの発揮や、木更津市への新たな企業拠点整備を進める上で、効果的な支援策は？
- ・需要の変化(住民属性や志向の変化など)や、地域資源(企業集積や研究機能など)の現状から、木更津市内における新ビジネス展開を期待したい分野とは？
- ・創業ニーズを掘り起こしていくための取組とは？

安定した雇用の創出

- ・企業の採用活動において、地元の若者に期待することや、どのような人材育成を地域・学校側に期待するのか？
- ・就職希望者と市内企業との接点を作り出すために効果的と考える取組とは？
- ・木更津市で働きたいと思う人を増やすために、雇用の創出以外に考えられる取組とは？

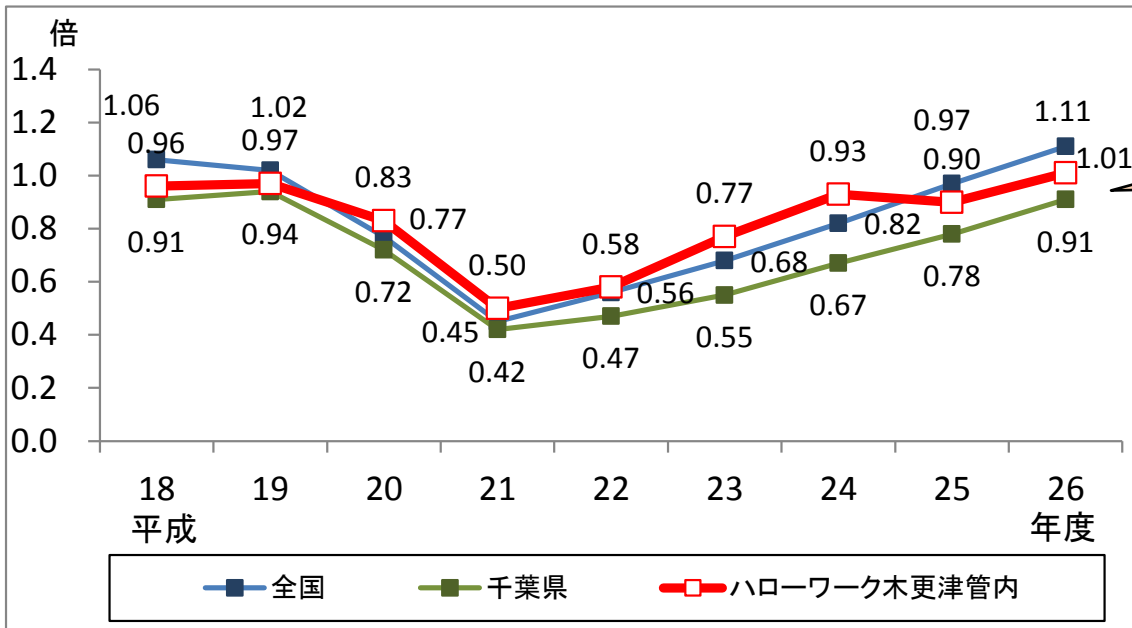
農林水産業の成長産業化

- ・農林水産業の6次産業化(1次産業、加工等の2次産業、サービス・販売等の3次産業の一体化)に向けて、課題や具体的展開のあり方とは？
※加工品製造販売、直売所・飲食店運営、体験観光、異業種からの参入・連携など
- ・農林水産業の担い手の高齢化や、耕作放棄地の増加に対し、産業活性化と雇用創出の観点から取り組むべきことは何か？

交流人口の維持・拡大

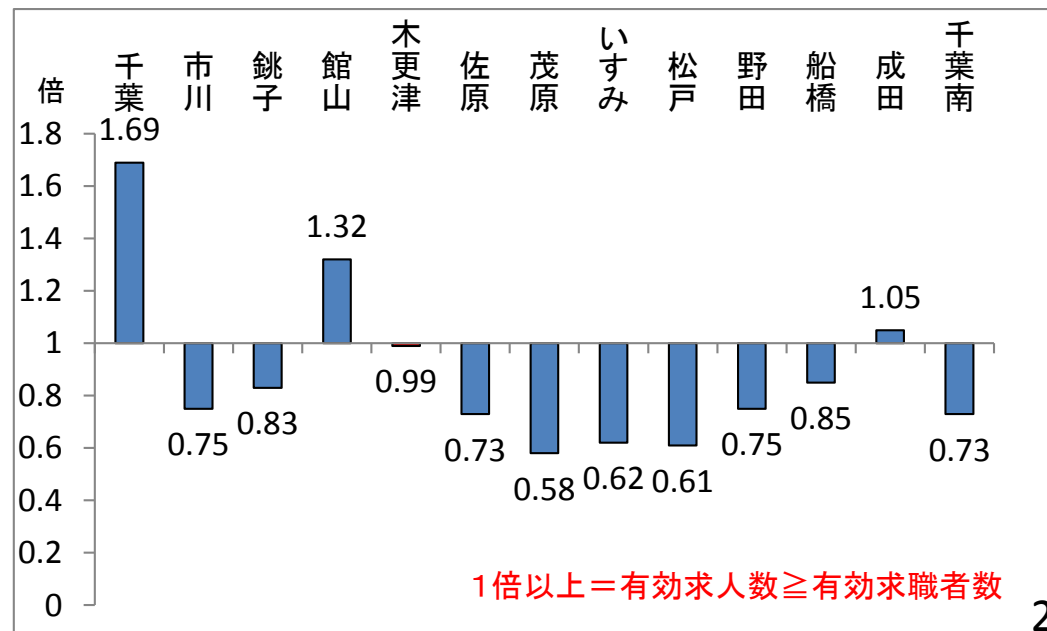
- ・交流人口の拡大のため、圏央道をいかに活用するべきか？
- ・大型商業施設から、他の観光施設への人の流れを生み出すために考えられる取組とは？
- ・市外からの集客促進のために考えられるICT利活用の方向性とは？

参考：有効求人倍率



木更津市管内の有効求人倍率は、現在おおむね1倍で、有効求人数と有効求職者数がほぼ同じ

ハローワーク別
平成27年4月



出典：ハローワーク木更津

注釈：有効求人倍率 = 求人募集する企業からの求人数(有効求人数) ÷ ハローワークに登録している求職者(有効求職者数)

木更津市の創業比率は、直近1.6%で、千葉県平均(1.9%)をやや下回る水準

事業所・企業統計調査

経済センサス

	事業所・企業統計調査		経済センサス	
	01～04年	04～06年	06～09年	09～12年
木更津市	4.1%	5.9%	2.5%	1.6%
君津市	3.4%	5.8%	2.6%	1.7%
富津市	2.7%	4.4%	2.0%	1.2%
袖ヶ浦市	3.4%	4.7%	2.4%	1.1%
千葉市	5.5%	7.0%	3.0%	2.2%
市原市	4.2%	6.6%	3.0%	1.4%
千葉県	4.4%	6.3%	2.7%	1.9%
東京都	5.3%	7.6%	2.6%	2.1%
全国	4.2%	5.8%	2.9%	1.8%

出典：総務省「平成13年事業所・企業統計調査」、総務省「平成16年事業所・企業統計調査」、総務省「平成18年事業所・企業統計調査」、総務省「平成21年経済センサス－基礎調査」、総務省・経済産業省「平成24年経済センサス－活動調査」

注記：「平成21年経済センサス－基礎調査」より、新設事業所の定義を変更したため、2006-2009年の創業比率は過去の数字と単純には比較できない。創業比率は、個人、(法人)会社を足し合わせて算出しており、会社以外の法人及びその他の団体は含んでいない。

滞在人口合計:262,800人

(滞在人口÷国勢調査人口=滞在人口率2.04倍)

木更津市を除く千葉県他市町村から約30%、
東京都区部や川崎市など、千葉県外から約15%

千葉県内からの滞在人口225,800人(85.9%)

- 1位 千葉県木更津市 130,400人(57.7%)
- 2位 千葉県君津市 23,800人(10.5%)
- 3位 千葉県袖ヶ浦市 15,200人(6.7%)
- 4位 千葉県市原市 12,400人(5.4%)
- 5位 千葉県富津市 9,600人(4.2%)
- 6位 千葉県千葉市中央区 3,000人(1.3%)
- 7位 千葉県船橋市 2,400人(1.0%)
- 8位 千葉県館山市 2,200人(0.9%)
- 9位 千葉県千葉市緑区 2,000人(0.8%)
- 10位 千葉県南房総市 1,900人(0.8%)

千葉県外からの滞在人口37,000人(14.0%)

- 1位 東京都大田区 2,500人(6.7%)
- 2位 神奈川県川崎市川崎区 1,300人(3.5%)
- 3位 東京都世田谷区 1,200人(3.2%)
- 4位 東京都江東区 1,200人(3.2%)
- 5位 東京都江戸川区 1,100人(2.9%)
- 6位 東京都品川区 1,000人(2.7%)
- 7位 神奈川県横浜市鶴見区 900人(2.4%)
- 8位 東京都練馬区 900人(2.4%)
- 9位 東京都足立区 800人(2.1%)
- 10位 東京都板橋区 700人(1.8%)

出典：株式会社Agoop「流動人口データ」

注記：滞在人口とは、市区町村単位で滞留時間が2時間の人口を表している。4